

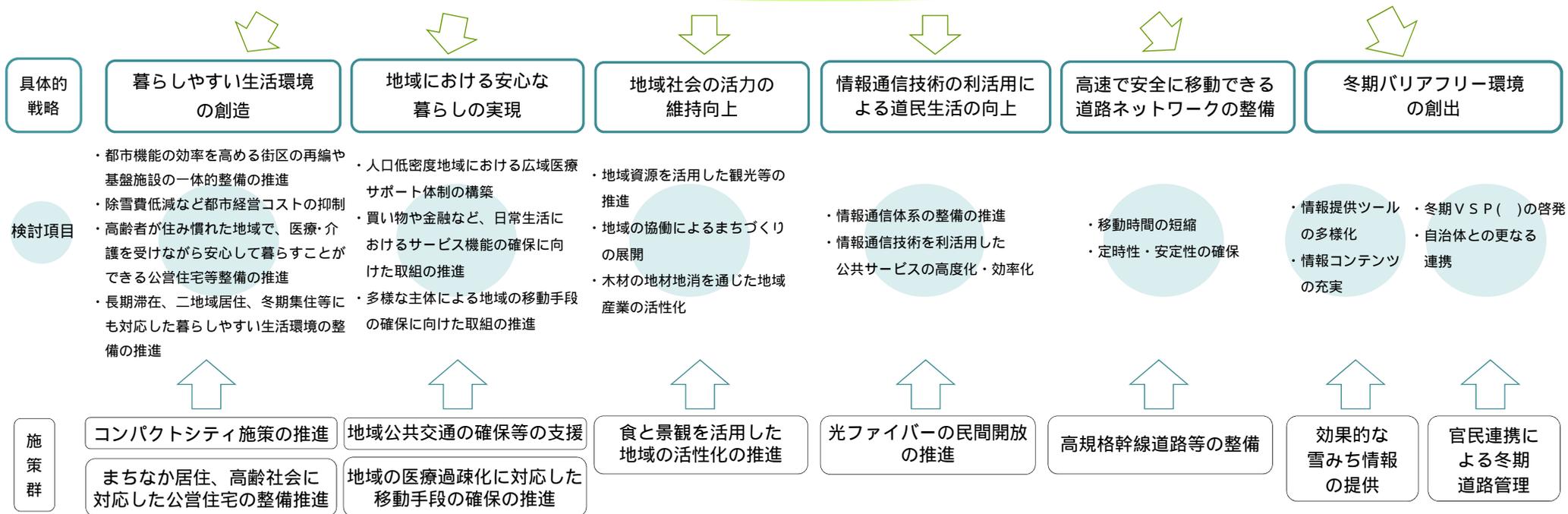
広域分散型社会における定住自立の推進

【戦略的目標『地域力ある北の広域分散型社会』への対応】

『地域力ある北の広域分散型社会』では、高品質な農水産品の供給や、価値ある自然資源を活用した観光への貢献など、「優れた特色ある地域資源を活かした地域づくりを進める」こととされている。また、「地方都市圏と周辺の人口低密度地域からなる広域的な生活圏において、都市機能の維持と、交流・連携の強化を進め、人口減少・少子高齢化に対応した地域社会モデルを構築する」こととし、「これにより、多様で個性ある地域から成る北海道の実現を目指す」こととされている。

「戦略的取組」
を取り巻く
現状・課題

- ・北海道は国土の2割を占める広大な地域に都市が散在する広域分散型社会を形成、都市間距離が全国の2倍、日常的に広域移動が必要
- ・冬期道路交通環境の改善に向けた対策は、ハード・ソフト・官民連携・維持管理の観点で総合的に取り組むことが必要
- ・全国に先駆けて人口減少・少子高齢化が進行し、広域分散型社会・積雪寒冷地である北海道の特性に応じた、暮らしやすい生活環境を創造することが必要
- ・また、住民の基礎的サービスを確保し、住民が安心して働き、生き活きと暮らしていけるよう、地域における安心な暮らしを実現することが必要
- ・恵まれた環境や美しい景観など地域資源の魅力や特性を最大限利用し、地域社会の活力の維持向上を図ることが必要
- ・更に、移動制約の高い広域分散型社会では、地域活性化のため、情報通信の利活用が不可欠



VSP: Volunteer Support Programの略。ボランティア・サポート・プログラムとは、国が直接管理している道路(直轄国道)を対象として、実施されている道路の美化・清掃プログラム。

施策群の連携機関：北海道、市町村、民間団体・企業 等
日本再興戦略との対応：世界を惹きつける地域資源で稼ぐ地域社会の実現 等